

QOL

Quality
Of
Life

QOL
サポーター
新潟

49

2019年4月1日発行
新潟医療福祉大学広報委員会編集



3月13日(水)新潟市の朱鷺メッセにて、2018年度卒業式・大学院修了式が行われ、957名の学部生と39名の大学院生が新たに社会へと巣立ちました。

- Index
- 学長・副学長の挨拶
 - 新入生へのメッセージ
 - 暮らしサイエンス
 - NUHWの外国人留学生に密着!
 - 学友会紹介
 - 活躍する卒業生の職場レポート
 - CAMPUS NEWS & 「SHAINプロジェクト」活動報告
 - 高校生の皆さんへ
 - 大学院 [医療福祉学研究科] 紹介





新潟医療福祉大学 学長 山本 正治

【専門】公衆衛生学、予防医学 【学位】医学博士、MPH
【所属等】新潟県環境審議会会長、新潟県医療審議会会長、
日本がん疫学研究会総会会長、日露医学医療交流財団国際シンポジウム機構長、日本衛生学会総会会長、
日本診療情報管理学会大会長 等

大坂なおみ語録から学ぶこと

入学おめでとうございます。入学後、皆さんに早速取り組んでもらいたいことがあります。この話を進める上でなくてはならない人として、大坂なおみさんを紹介します。親愛の情を込めて、なおみさんと呼ばせていただきます。なおみさんは現在21歳のプロテニスプレーヤーですが、昨年の全米オープンで初優勝、そして今年早々、全豪オープンで優勝し、世界ランキング1位となりました。日本人初の快挙です。

3歳からテニスを始めたそうです。その後アメリカに移住し、本格的にテニスを学びました。小学3年生の時には「将来の夢」と題して、憧れの選手であるセリーナ・ウィリアムズの絵を描き、「将来彼女のようにになりたい」と誓ったそうです(注1)。昨年の全米オープンで憧れのセリーナ選手とコートで相まみえたことは、彼女の力で夢を実現させた瞬間だったのではないのでしょうか。試合結果ですが、セリーナ選手にストレート勝ちし、グランドスラム初優勝となりました。その時のインタビューでは「セリーナ選手と試合をすることは夢だった。プレイしてくれてありがとう。」と、セリーナ選手に感謝の言葉を述べているのが印象的でした。その他の記者会見でも、なおみさんの受け答えは凄くウイットに富んでおり、なおみ語録としてまとめられています(注1)。

私はなおみ語録が“ある視点”から分類できることに気づきました。“ある視点”が何であるかの謎解きは後ほどしたいと思います。①「負けたらすごくガッカリするわ。当然、勝つことは楽しい。でも負けたからといって世界の終わりではない。」(小さな成功体験や失敗体験の積み重ねに分類)、②「セリーナ選手と試合をすることは夢だった。プレイしてくれてありがとう(前出)。(成功者から学ぶ)、③「何ごとも口に出したほうが、達成するのは簡単になる。」(「自分ならできる」と自問自答)、④「成長するとはどんな状況でも動揺したりせず、自分がどうすべきかを知っていることだと思います。」(心身の健康に加え、知的好奇心を持つ)、⑤「最強になるんだ、これまでの誰とも違う。…これポケモンのテーマソングなの。最高になるには、できるところまで突き進まなければいけないの。」(理想像に自分を重ねてイメージ)。

これから“ある視点”について謎解きをします。“ある視点”とは「自分がある状況に置かれた時、自分なら何とかできそうだと自信を持つこと」です。心理学では「自己効力感」と言っています(注2)。この自己効力感を高める方法として5つの要素があります。心理学では、①成功体験、②代理的経験、③言語的説得、④生理的情緒の高揚、⑤想像的体験と言っています。「自己効力感」を高めるメリッ

トですが、大きな目標を達成するためのモチベーションづくりや少しの失敗では挫けないチャレンジ精神の涵養(かんよう)に役立つことです。

なおみ語録を分析すると、発言のほとんどが5つの要素に当てはまりますので、彼女は「自己効力感」を持って、自分が掲げた目標にチャレンジし、到達できたと考えます。特に彼女が負け続けて極度の不安の中にいる時も、この「自己効力感」を持ち続けられたことが彼女の真の凄さです。

このようなメリットがある「自己効力感」を本学でも活用しない手はありません。今回入学された皆さんには「自己効力感」の向上に努めていただきたいと思います。

まとめをします。本学の建学の精神は「優れたQOLサポーターの育成」です。具体的には、保健・医療・福祉・スポーツ分野で、患者さんや高齢の方々、さらにはすべての対象者の方々のQOL(Quality of Life、生活の質)を高めるためのサポーター(支援者)を育成することです。皆さんは優れたQOLサポーターになるために大きな夢を抱いているに違いありません。その夢の実現のために「自己効力感」を向上させる方法を今のうちから考え、実践してみたいかがでしょうか。

5つの要素を本学に当てはめると次のようになります。将来優れたQOLサポーターになるために、①小さいものから大きいものへと段階的なゴールを自分自身で設定し、成功体験や失敗体験を積み重ねること、②大学の先輩や先生方の背中を見てお手本とすること、③「私ならきっとできる」と自分に何度も言い聞かせること、④大学で出会う新鮮な知識・経験から知的好奇心を刺激し、心身の高揚を図ること、⑤朝起きた時や夜寝る前に、理想像に自分を重ねてイメージすることです。明日から早速、実行してください。継続は力なりです(注3)。

注1. 「将来の夢」エピソード、名言・語録の典拠

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E5%A4%A7%E5%9D%82%E3%81%AA%E3%81%8A%E3%81%BF>

<http://kando.meigensyu.org/meigen/osakanaomi>

<https://222sunsun.com/osakanaomi-goroku/>

注2. 本稿は自己効力感(Self-efficacy)を、専門用語を使わず分かりやすく説明したものです。詳細を知りたい方や自己肯定感(Self-esteem)との違いを知りたい方は、専門書で確認ください。

注3. 本稿は入学式式辞を要約したものです。原文は本学ホームページ「学長メッセージ」をご覧ください。



副学長(国際交流・強化スポーツ担当) 渡辺 敏彦

【専門】国際交流、職業教育 【所属等】学校法人新潟総合学園副理事長、新潟県専修学校各種学校協会会長、新潟県私立学校審議会委員、新潟県私学振興会副理事長、全国専修学校各種学校総連合理事、全国経理教育協会副理事長、職業教育・キャリア教育財団理事、新潟日米協会会長 等

国際交流の重要性

本学の設立の基本理念は、1.「優れたQOLサポーターの育成」2.「地域社会のニーズに応える」3.「国際交流と国際貢献」の3つです。1と2・3は全く別項目のようですが、実は大変深く関わっています。即ち、優れたQOLサポーターは、まさに“地域社会”の中で、保健・医療・福祉・スポーツ分野で活躍する訳ですので、2の地域社会とそのニーズを知る必要があります。3の「国際交流と国際貢献」ですが、QOLサポーターの活躍する専門分野は、もちろん日本だけで独立している訳ではありません。日本が世界の様々な国々と交流をして影響を受け、いわゆる「グローバル社会の中の日本」という状況に置かれている訳ですが、専門分野もまさに同じ状況にあると言えます。

そこで、QOLサポーターとしては、活躍する分野の置かれているこの状況を理解する必要があります。即ち広い視野と最新の情報を得ることが大変重要です。そのための有効な手段は、「国際交流」であると思います。

さらに、QOLサポーターの「ハード」の部分は、上で述べた最新の情報・知識と優れた技術だと思えますが、その「ソフト」の部分は、人間性とコミュニケーション力になると思います。コンピュータと同様に、「ハード」は「ソフト」がないと機能しない訳ですので、人間性やコミュニケーション力を養い、それを磨くことが大変重要だと考えます。そして、その手段もまた、「国際交流」がうってつけだと思います。本学では、その機会を提供していきますので、皆さんに積極的にトライして欲しいと願っています。



副学長(教育担当) 江原 義弘

【専門】三次元動作解析、バイオメカニクス、徒歩分析
【学位】博士(工学) 【所属等】臨床歩行分析研究会副会長、バイオメカニクス学会評議員、日本義肢装具学会評議員、ISPOフェロー、リハビリテーション医学会 等

相手に敬意をはらう

新潟医療福祉大学に入学してくれてほんとうにありがとう。元気いっぱいの新入生がたくさん来てくれて嬉しいです。皆さんは自分の力で合格の栄冠を手に入れたわけですが、同時に自分の周りのたくさんの方々から支援を受け育ててもらったから、合格という夢が実現できたのです。家族や友人、学校の先生方はもちろんのこと、顔も知らない方からも恩恵を受けていることでしょう。それらの方々に感謝していることと思います。

大学への入学を機会にこれからは感謝に加えて、【相手に敬意をはらう】ことを意識してみてください。意識をときずますと、すべての人にあなたと同じように長い人生の蓄積があり、感謝の気持ちがあり、素晴らしい性格、素晴らしい能力があることがわかるでしょう。相手に敬意をはらうと、その相手も自分に敬意をはらってくれるようになります。敬意をはらうと顔を合わせたとき自然と【こんにちは】という挨拶が口から出てきます。

本学では、上級生でも下級生でも教職員でも学外の方でも、顔を合わせたときに【こんにちは】と挨拶が交わされます。相手に敬意をはらうことが形として表れているのです。しっかり顔を合わせ、目をみて大きな声で挨拶をしてください。



副学長(地域・産官学連携担当) 丸田 秋男

【専門】地域福祉政策、社会保障政策、児童家庭福祉、学校ソーシャルワーク 【学位】修士(地域政策学) 【所属等】日本地域政策学会理事、日本子ども家庭福祉学会、日本ケアマネジメント学会、日本社会福祉学会、新潟県生涯学習審議会会長、新潟県自立支援協議会会長、新潟県水俣病施策推進審議会委員長、新潟県第三者評価事業推進委員会委員長、新潟市社会福祉審議会委員長、新潟市地域医療推進会議委員 等

QOLサポーターの思想 ～人々とともに(with people)～

今年の2月のエピソードです。咳と喉の痛みに悩まされ、日曜日にクリニックを受診したら風邪との診断でした。翌週から県外出張を控えていたこともあり、あらためて大学の近くにある松田内科呼吸器科クリニックを受診しました。「お話を聞かせてください」と、具体的な症状や生活面で困っていることを丁寧に聞き取っていただきました。そして、症状の原因と治療方針、処方内容などについて分かりやすい説明の後、「安心して熊本に行ってください」と笑顔で送り出していただきました。確かな専門性に基づいて、人々の生老病死に責任を持つ松田先生の姿に、QOLサポーターに求められる思想を学びとることができました。私の理解で言えば、人々の安心感と信頼感を大切にし、人々とともに(with people)働くという真のプロフェッション(専門職)の姿に触れた想いがしました。

新入生の皆さんは、4年後には医療・保健・福祉・スポーツ等の専門分野で、21世紀の社会を支える役割を期待されています。ソーシャルワークの分野では、人々のため(for people)ではなく人々とともに(with people)働くという考え方が原則になっています。皆さんには、地域医療の第一線の現場で、人々のQOLを最優先している医師の姿とおして、自分が目指すQOLサポーターの思想を育んでいただきたいと思っています。

※実名掲載については承諾を得ています。

学科長からのメッセージ

新入生の皆さん
ご入学 おめでとうございます!!

～学科長からのメッセージをお届けします。～

やる時はやる!



作業療法学科 学科長 大山 峰生



皆さんにとって大学生活は、友情を育み、人生について考える大事な場となります。そこには大きな楽しみがある一方で、忍耐・努力を必要とする辛いこともあります。皆さんは作業療法士に向けた目標を決して忘れることなく、「やる時はやる」の精神で困難に打ち勝ち、有意義な大学生活をお過ごしください。

充実した学生生活を



理学療法学科 学科長 大西 秀明



自由な発想のもと、勉強を含めてすべてのことに対して積極的に行動を起こしてください。幅広い知識や教養、高い倫理観と責任感を培いながら医療専門職種として「優れた」理学療法士になることを目指して、4年間の大学生活を楽しく有意義に過ごされることを期待しています。

夢の実現へ



言語聴覚学科 学科長 山岸 達弥



人生の中で大学4年間は、友人や師、未知の自分と出会う時期です。そして、知の探求へと旅立つ時期です。皆さんはこれから、言語聴覚士になるため様々なことを学びます。切磋琢磨しながら知情意を磨き、可能性を広げ、夢の実現への歩みを確実なものにしていきましょう。期待しています。

専門職としての基礎を築を!



義肢装具自立支援学科 学科長 東江 由起夫



本学科は、世界で初めて義肢装具教育に加え、福祉用具教育を体系的にカリキュラムに取り入れ、これからの高齢社会で活躍する義肢装具士を育成する学科です。4年間の就学期間を通して、医療専門職「義肢装具士」としての、また社会人「個人」としての基礎基盤を築いてください。

新たな医療技術者へ



臨床技術学科 学科長 中村 藤夫



本学科は臨床検査技師と臨床工学技士のダブルライセンスを目指す学科です。厚生労働省は2021年度から他職種においても医療・福祉の視覚、要請課程の一部を共通化し、より良い効率的な医療の実現を目指しています。その先駆者として、学業は勿論、様々な課外活動、サークルなどで有意義な大学生活をお過ごしください。

大学4年間の過ごし方



視機能科学科 学科長 前田 史篤



これから始まる大学生活は人生で最も自由な4年間かもしれません。学業に加えてサークルや部活動、アルバイトも含めた社会活動、その他興味のあることに積極的に挑戦してください。成功も失敗もすべて皆さんが卒業して社会に出る上で間違いなく役に立ち、思い出というかけがえないものになります。皆さんの挑戦を応援しています。

実りある充実した大学生活を



救急救命学科 学科長 鈴木 力



4年間の大学生活では専門的な知識・技能を学び救急救命士に必要な能力を身につけることはもちろんですが、「ひと」としての自身を高めることも大切です。勉学にも、様々な課外活動にも積極的に取り組み、実りある充実した大学生活を過ごしてください。

貴重な時間を大切に



診療放射線学科 学科長 笠原 敏文



これから始まる大学生活は、なすことすべてが初めての経験と言ってもいいほど戸惑うと思います。しかし、それは大変貴重な時間を過ごすことになるのです。残念ながらこの4年間は長いようで大変短いです。人生は、自己実現に向け様々な経験を積み重ねていくことで豊かになると言われています。充実した時間をお過ごしください。

あなたの気持ち次第



健康栄養学科 学科長 斎藤 トシ子



「幸せはあなたの心が決める」という言葉があります。膨大なレポート、講義、実験、実習、研究を意義あるものにするかどうか、あなたの心次第。時間を有効に使い、学外や国外にも飛び出し、思い出に残る大学生活をお過ごしください。大いに笑い、大いに感動できる4年間になることを期待しています。

真に信頼できる仲間を作ろう



健康スポーツ学科 学科長 西原 康行



近年はソーシャルメディアが発達しました。しかし、「いいね」を押しコメントを載せても、このような仮想空間では、不安を消すことができても安心を得ることはできないと言われています。実際に会って語り、互いの思いをくみ取り、信頼と安心を得られる真の仲間を4年間で作ってください。

自分の世界を広げよう



看護学科 学科長 松井 由美子



本学にはたくさんの学科があります。皆さんは看護職を目指されますが、様々な学科の先生や学生さんとも交流し、自分の世界を広げてほしいと思います。国際交流やボランティアなども、貴重な経験をもらたしてください。看護は人と関わる専門職ですから、友人や仲間と積極的に語り合い学生生活を楽しんでください。

目指せ、マルチプルな福祉専門職



社会福祉学科 学科長 渡邊 敏文



福祉の専門職が社会から求められている役割は、ますます高くなっています。その中で十分に力を発揮していくためには、知識や技術だけではなく、幅広い人間力や実践力も必要です。これから始まる4年間の大学生活で、授業だけではなく学外実習やボランティア、地域貢献活動などを通して、多様な力を身につけてください。

先を見つめ今を大切に



医療情報管理学科 学科長 柴山 純一



学習と資格取得はもちろん、友人、サークル活動、アルバイトやできれば海外へ…様々な目標をもって入学されてきたことと思います。大学は専門的なこと、課題解決力を学ぶとともに、自ら行動しプラスαを身につけることです。4年後の卒業時に何を得たのかを自信を持って話せるよう楽しく充実した大学生活であることを願っています。

在学生からのメッセージ

新入生の皆さん
ご入学 おめでとうございます!!

～学生からのメッセージをお届けします。～

充実したキャンパスライフ



作業療法学科 1年 長谷川 望

充実した大学生活を送るために、空き時間を有効に使うことをお勧めします。友人と相談しながら課題をしたり、遊ぶ時間に使ったりと色々な活用法があります。また、誰かと一緒に勉強したい時、一人で静かに勉強したい時と、気分に合わせて学習できる環境が整っています。自分に合った時間の使い方と環境を見つけて、素敵な大学生活を過ごしてください!

たくさんの挑戦を



義肢装具自立支援学科 1年 伊里 風音

私は「空飛ぶ車いすサークル」という、国内外で車椅子の修理、整備を行うサークルに所属しています。活動を通じて、台湾では車椅子を長く使うことが多いと知り、修理の重要性を改めて知ることができました。この他にも多くのクラブ・サークルがあり、新しいことに挑戦できる機会がたくさんあります。ぜひ色々なことに挑戦して、充実した大学生活を過ごしてください!

日々の努力を大切に



視機能科学科 1年 稲田 悠生

日々の勉強で大切なのは、「習ったその日のうちに復習する習慣をつけること」です。そうすることで、試験前に慌てなくて済みますし、次の講義ではより深い理解を得ることに繋がります。新しい環境で大変なことと思いますが、日々の努力の積み重ねが、先々の定期試験対策や国家試験対策に繋がると思います。

自分から学ぶ姿勢を大切に



診療放射線学科 1年 大越 朱音

授業内容や勉強の仕方が高校までと全く違うので、慣れるまで大変かもしれません。疑問に思ったことは積極的に先生に質問したり友だちと一緒に勉強したりすることで、より理解が深まります。しっかりと知識を身につけることが定期試験や国家試験に臨む際の自信に繋がるので、日頃から積極的に学ぶ姿勢を大切にしてください。

様々な経験をして夢を叶えよう



健康スポーツ学科 4年 伊藤 渉

4年間で、授業、実習、課外活動、アルバイト、ゼミ活動など様々な経験を通して成長することができました。両立は大変でしたが、周囲の励ましもあり乗り越えることができ、第一志望の就職先に内定をいただくことができました。新入生の皆さんも様々な経験をして、夢を叶えてください。自分の夢を叶えられるのは自分しかいません。

課外活動が成長につながる



社会福祉学科 2年 佐藤 太一

私は「レクア.コム部」という、本学の地域貢献団体に所属しています。主に小学生や四肢・体幹に障害がある子どもに対する休日支援や、夏祭りなどの地域行事でボランティア活動を行っています。様々な方と関わることでコミュニケーション力がつき、自身の成長にも繋がります。皆さんもぜひ、積極的に課外活動を行ってみてください!

充実したゼミ活動



理学療法学科 4年 佐藤 成

私は、ゼミ活動で理学療法士にとって重要なストレッチングや筋力トレーニングの研究を行っています。ゼミの先生や仲間と意見を出し合い、時には体を動かしながら、楽しくかつ真剣に取り組んでいます。このように、本学では充実したゼミ活動を行うことができます。皆さんもぜひ、興味のあることについて研究してみてください!

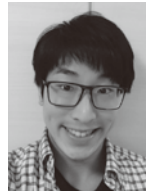
実習を通して分かる学びの楽しさ



言語聴覚学科 3年 上之山 恵美

本学科では、2年次に見学実習、3年次に評価実習、4年次に総合実習があります。実際の臨床場面に携わることで新たな発見や学びがあり、多くの患者様と出会う中で様々な臨床像が見えてきます。日々の勉強や実習を通して得る知識は、私たちが患者様を知るための第一歩です。勉強する目的や目標を持って、有意義な大学生活を送ってください。

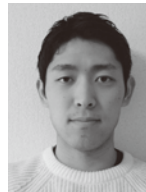
大学生活と一人暮らし



臨床技術学科 3年 竹部 悠希

大学に入学すると多くの方が一人暮らしを始めると思います。勉強に加えて慣れない家事を行うことは大変かもしれませんが、友人と過ごす時間が増えたり、新しい趣味を見つけたりと楽しいことも多くあります。4年間という長く感じるかもしれませんが、想像以上にあっという間です。かけがいのない友人たちと楽しい大学生活を送ってください!

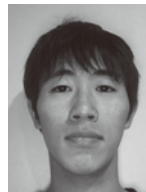
大学での学び



救急救命学科 2年 関 駿哉

大学での学びは自主性が大事だと思っています。与えられたことだけをやるのではなく、自分に必要だと思うこと、今やるべきこと、やってみたいことなどを考え、学んでいくことで自身の成長や国家試験合格に繋がりが、現場で関わる患者さんのためになると思います。大変なこともあると思いますが、一緒に頑張っていきましょう!

大学生活で大切なこと



健康栄養学科 2年 真田 瞳衣

大学では、自主性と挑戦する勇気が大切になってきます。授業であれば、何を学び、どの科目を選択するのか? 部活やサークルであれば、自分に合う合わないではなく、何に興味があるのか?ということですね。自信を持って学べることをしっかりとやり抜くことで、きっと納得のいく大学生活を送れると思います。頑張ってください!

日々の学習が実習に繋がる



看護学科 1年 田中 桃子

2月に学外実習を行った際、中々うまくいかず落ち込むことが多くありました。それと同時に、失敗が許されるのは学生のうちだけだということも実感しました。実習はそれまでの学習が活かされる場なので、1年次から日々の学習をきちんと行うことが重要で、こうした活動に実習に臨めるように、コツコツ学習していきましょう。

大切な仲間との出会い



医療情報管理学科 3年 板垣 匠

私は、中学・高校の生徒会に似た「学友会」という組織に所属し、大学祭などの行事の運営を行いました。学友会では、縦の繋がりがだけでなく、違う学科の学生と横の繋がりがもつて行うことができます。大学には学友会以外にも様々な部活動・サークルがあるので、こうした活動に参加しながら4年間の大学生活を充実させてください!

今からでも遅くない“禁煙”住みよい幸せな社会環境のために!

診療放射線学科 准教授
大徳 尚司

●タバコはなぜ体に悪いのか

わが国のタバコ販売量のほとんどは紙巻タバコであり、喫煙によって発生する主流煙には、粒子成分が約4,300種類、ガス成分が約1,000種類の合計約5,300種類が含まれています。これらの化学物質には、発がん性があると報告される物質が約70種類存在しています¹⁾。一番有名なものはニコチンを含んでいるタールで、発ガン性・依存性が非常に強い物質です。それらは喫煙することでどれほど寿命に影響があるのでしょうか。喫煙者は非喫煙者よりも10年短命であるという、英国医師の研究がしばしば引用されます²⁾。日本も英国とほぼ同じで、男性は約8年、女性は約10年短命であるという報告があります。

●タバコによる病気のリスク

タバコと発がんの関係について、国際がん研究機関(IARC)の報告によると、同程度の喫煙量では男性より女性の方が肺がん発症リスクが高い可能性があり³⁾、一生涯のがんによる死亡リスクは、1日の喫煙本数が1～14本で1.58倍、15～24本で2.11倍、25本以上で3.07倍とされています²⁾。

呼吸器疾患には、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、呼吸機能低下、および結核です。肺がんのリスクは喫煙期間の長さが深く関連しており、喫煙開始年齢が若いほど、また喫煙本数が多いほど、リスクが増大します。代表的な肺がんの組織型には腺がん、扁平上皮がん、小細胞がんなどがあり、それらすべてのリスクを増大させます。

循環器疾患には、虚血性心疾患、脳卒中、腹部大動脈瘤、閉塞性血栓性血管炎および末梢動脈硬化症があります。脳梗塞は約2倍、心筋梗塞およびくも膜下出血は約3倍、受動喫煙でも脳卒中は1.25倍、アルツハイマー型認知症は1.79倍とリスクが増大します。喫煙者と禁煙者では1.70倍と高く、禁煙抑制効果も有用です。

消化管疾患では、食道がんのリスクが約6倍、そこに飲酒が加われば約50倍と報告されています。胃がんは男性で1.6倍、女性で1.5倍に上昇し、男性胃がんの原因の約30%を喫煙が占めています。また、大腸がんも1.4倍のリスク上昇を認めます。

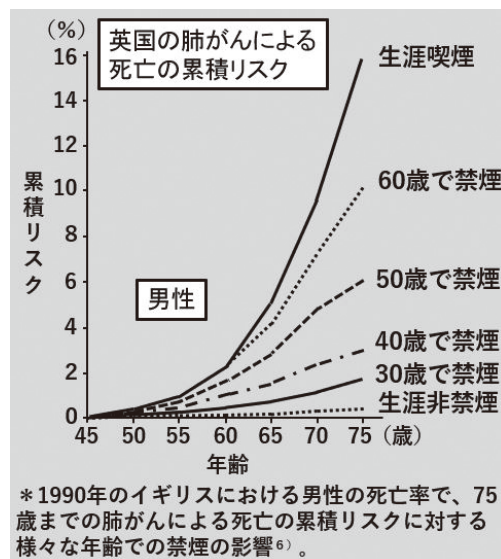
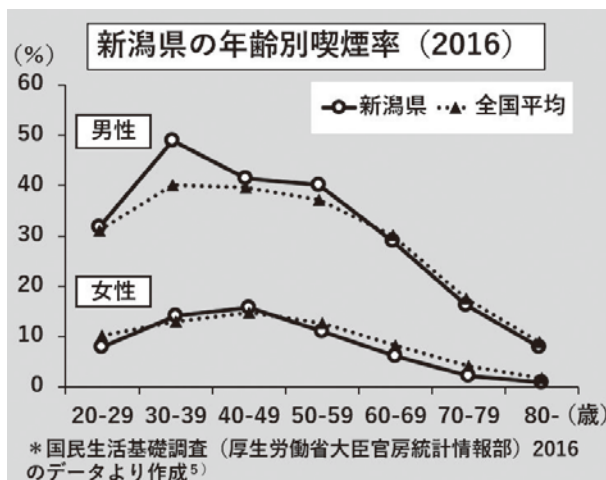
皮膚疾患では、炎症性角化症がおこり、顔色や唇の色が変化します。**口腔疾患**には、歯周疾患や口腔がん、**その他の疾患**には、2型糖尿病やニコチン依存症などがあります。また、妊婦の喫煙は、早産や低出生体重・胎児発育遅延および乳幼児突然死候群(SIDS)に繋がり、閉経が早く、不妊が増える傾向があります。

●周りに及ぼす影響とは

1日20本以上喫煙する夫を持つ場合、日本人女性の肺がんになる相対リスクは2.08倍(1.39～3.11)になると報告されました。女性の肺腺がんの37%が、夫からの受動喫煙によるものと推計されたのです⁴⁾。このように、受動喫煙は非喫煙者に対して大きな問題となっています。喫煙には、喫煙者がタバコを吸う「一次喫煙」、喫煙者が吐き出した煙やタバコから出る煙などを他人が吸入する「二次喫煙(受動喫煙)」だけでなく、喫煙者の呼気や衣服、喫煙の行われた室内・車内などに残る「タバコ臭」を吸入する「三次喫煙(残留タバコ煙曝露)」があります。「タバコ臭」を分析すると、目に見える煙がないにもかかわらず副流煙と同じ有毒成分が検出され、非喫煙者に対して粘膜刺激症状や化学物質過敏症などの重篤な疾患を発症する恐れがあります。健康寿命の延伸と住みよい幸せな社会環境のために、今からでも遅くない禁煙に取り組みましょう。

[出典および参考文献]

- 厚生労働省「喫煙と健康 喫煙の健康影響に関する検討会報告書」
- Doll R, Peto R, Boreham J, Sutherland I: Mortality in relation to smoking: 50 years' observations on male British doctors. *BMJ*, 328(7455):1519, 2004.
- Ski T, et al: Cigarette smoking and lung cancer risk according to histologic type in Japanese men and women. *Cancer Sci*, 104(11):1515-1522, 2013.
- 禁煙学 改訂3版 日本禁煙学会編 南山堂
- 国民生活基礎調査(厚生労働省大臣官房統計情報部)
- Peto R, Darby S, Deo H, Silcocks P, Whitley E, Doll R. Smoking, smoking cessation, and lung cancer in the UK since 1950: combination of national statistics with two case-control studies. *BMJ*, 321(7257):323-329, 2000



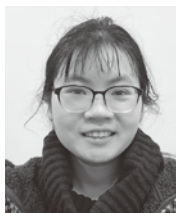
本学の大学院には今現在10名の外国人留学生が在籍しています。彼らには、母国から遠く離れ新潟に留学した大きな目標と夢があります。今回は大学院に在籍しているベトナムからの留学生のフェンさんに密着し、入学の理由や大学院での研究内容、将来の夢について伺いました。

名前 **チャン ティ タイン フェン**
Tran Thi Thanh Huyen

専攻・分野 **医療情報・経営管理学専攻 医療情報・経営管理学分野**

プロフィール

- 出身地：ベトナム タイビン省
- 生年月日：1993年7月17日（現在25歳）
- 出身大学：ハノイ医科大学
 診療検査技術学部



経歴

ベトナムの大学卒業後、東京都の日本語学校で1年間勉強し、その後新潟医療福祉大学 大学院 医療福祉学研究科に入学。

インタビュー

なぜ新潟?! なぜ新潟医療福祉大学の大学院へ?!

Q1 日本全国の大学の中から、新潟医療福祉大学を留学先に選んだ理由を教えてください。

A1 最初は東京の大学と迷っていましたが、本学の窓口の方の丁寧で迅速なご対応で決めました。入学する前、学習面や生活面において様々なことをメールで質問したのですが、すぐにレスポンスをいただけたので、「この大学だったら不安が多い中でもサポートしていただける!」と思い入学を決めました。

Q2 生活面などで困ったことなどはありましたか?

A2 新潟での生活は便利で先進的です。新潟で生活を始めて、生まれて初めて「雪」を見た時は感動しました。しかし、最初は上手く歩くことができず大変でした(笑)。

フェンさんに密着! ~1日のスケジュール~

平日のスケジュール	7:00	8:00	9:00	12:10	13:10	14:50	21:30
	起床 7:00	通学 8:00~9:00	研究 9:00~12:10	休み 12:10~13:10	図書館で勉強 13:10~14:50	授業 14:50~21:30	
土日のスケジュール	7:00	8:00	10:30	11:10	16:00	18:00	21:30
	起床 7:00	自宅勉強 8:00~10:30		アルバイト 11:10~16:00		友達と夕食 18:00~21:30	

土日は新潟市内のラーメン屋さんで、アルバイトをしています!最初は戸惑うこともありましたが、親切な先輩たちのおかげで楽しく働いています!



研究紹介

私はベトナムのハノイ医科大学診療検査技術学部で検査診断学を学びました。近年、ベトナムでは日本やヨーロッパ、アメリカと同じように生活習慣病が増加しています。大学時代、ベトナムの病院で検査の実験をした経験がきっかけで、生活習慣病について興味を持つようになりました。

留学した理由は、日本の大学院で学ぶ医療統計学の方法を用いて、ベトナムでも継続して生活習慣病の研究を行いたいと思ったからです。

急速な経済成長により、ベトナムでは人々のライフスタイルも大きく変化しました。それに伴い、「食料の量」だけでなく過剰栄養や過少栄養に関連する「栄養の質」についての課題が目立っています。

ベトナムでは全年齢層の死亡原因のうち*1「非感染症疾患」が70%以上を占めているのにも関わらず、非感染症疾患に関する保険制度が整っていないため、スラム地域の非感染症疾患患者のいる家庭は、膨大な医療費がかかります。ベトナムでは非感染症疾患に対する認知度の低さや、地域格差のある医療、専門的な知識を持った医療従事者不足などが問題となっているのです。

日本の大学院では、日本の食料不安と社会人口統計学的要因、肥満、そして食物摂取との関係を調べています。そのため、鈴木健司先生、齋藤翔太先生、瀧口徹先生の指導のもと、医療統計学の方法を用いて解析



し、食料不安、社会人口統計学的要因、自己申告に基づいた非感染症の有病率との関連を研究しています。

この分野を研究するため、大学院の講義への積極的な参加や、学部の統計学の講義を傾聴するなどして知識を身につけています。本学の先生や職員の皆さんはとても親切です。また国際交流も盛んな大学なので、学部生との様々な交流や勉強会にも参加し大学生活も楽しく過ごせています。将来は、本学での研究結果をもとに、ベトナムの医療に役立てていきたいと思っています。

*1 不健康な食事や運動不足、喫煙、過度の飲酒などの原因による、生活習慣の改善により予防可能な「がん」「糖尿病」などの疾患のこと。

留学生のキャンパスライフはわたしたちがサポート



国際交流センターでは 留学生のキャンパスライフをサポートしています!

フェンさんは修士課程在学中ですが、ベトナムの大学で学んだ知識だけでは足りないからと学部の授業を積極的に聴講したり、新潟市主催の日本語教室に通ったりと、とっても熱心な学生です。レポートを作成するときは難しい専門用語を使いこなさなければならないため、日本人学生の何倍も時間をかけて頑張っています。国際交流センターのスタッフは、フェンさんのような外国人留学生が学業に専念できるように、いつでも安心して相談できる関係づくりを心掛けています。

学務部 国際交流課 **大野 あかねさん**

学友会紹介

学友会とは？

学生が充実した学生生活を送るために創り上げられた組織です。中学や高校の生徒会組織に似ています。会長、副会長をリーダーに、副会長補佐、広報担当、地域交流担当、行事担当、部活サークル担当、書記担当、美化担当、会計担当で構成され、現在総勢40名程度が所属しています。



新入生の皆さん！
私たちと一緒に大学を
盛り上げませんか？

年間を通して
様々な活動の企画運営
をしているよ！

YEAR SCHEDULE

※変更となる場合がございます。

- 2019年
 - 4 ●桃迎え (新入生歓迎イベント)
●新入生オリエンテーション
 - 5 ●学友会総会
●美化キャンペーン
 - 6 ●夏季スポーツ大会
 - 7 ●夏のオープンキャンパス
 - 8 ●夏のオープンキャンパス
 - 9 ●美化キャンペーン
●夏のオープンキャンパス
 - 10 ●伍桃祭 (大学祭)
●美化キャンペーン
●学友会総会 (中間決算)
 - 12 ●美化キャンペーン
●冬季スポーツ大会
- 2020年
 - 1 ●美化キャンペーン

学友会の活動はどんなことをするの？

文化活動やスポーツ活動、そして地域活動などを通じて、学生同士の親睦、地域との交流を図り、学生の皆さんがより良い学生生活を送れるように日々活動しています。具体的な活動は、伍桃祭 (大学祭)、スポーツ大会などの大学行事運営企画、部活動の支援、学内の美化活動など多岐に渡ります。



桃迎え

新1年生を対象にクラブ・サークルを紹介する新入生歓迎会。パフォーマンスや各ブースでの活動紹介などを行います。



伍桃祭 (大学祭)

模擬店やクラブサークルパフォーマンスをはじめ、有名アーティストやお笑い芸人を招いたライブなど様々なイベントを開催します！



スポーツ大会

年に2回スポーツ大会の開催を予定。本学学生であれば誰でも参加可能なため、スポーツを通じて学科・学年を越えての交流ができます。

メンバーから新入生へのメッセージ



学友会会長

視機能科学科3年
北島 祐人

キャンパスライフを豊かに

学友会では皆さんの学生生活をより楽しいものにするため大学祭やスポーツ大会などの様々なイベントを行っています。他にも、各サークルへの予算調整業務・活動場所や時間の調整、新規サークル設立の承認、学友会規則の改定などを行います。これからも、学生の歩く道に街路樹を植えるような団体として、学生のキャンパスライフを豊かにするお手伝いのできればと思います。



学友会副会長

健康スポーツ学科2年
田中 朋寛

充実した大学生活を

学友会では主に大学で行うイベントの企画、運営などを行います。イベント運営にあたっては外部企業との協力や予算の決議などを学生が主体となり行います。初めて経験することばかりで、多くの苦労や難しいこともあります。仲間とともに一つのものを作り上げ、やりとげたあとは何事にも変えられない達成感が味わえると思います。皆さんも私たちと一緒に充実した大学生活を送りませんか？皆さんに会えることを楽しみにしています。



副会長補佐

社会福祉学科2年
齊藤 史也

学科の枠を越えた仲間と一緒に作ってみませんか？

学友会では、様々な行事の企画運営を行っています。中学校や高等学校の「生徒会」のようなものです。一見「生徒会」と聞いて、堅苦しいイメージがあるかもしれませんが、学科・学年が異なる友だちを作ることができ大学生活が充実します。また、学友会メンバーと協力して大きなことを成し遂げたときは達成感も得られます。自分もこんなことやってみたい!と思った方はぜひ学友会へ!

＼新2年生の加入も大歓迎！／
学友会メンバー大募集!!

お問い合わせ gakuyuu@nuhw.ac.jp

フレッシュな1年生を大募集しています!ちょっとでも興味がある人は第2厚生棟1階にある学友会室(1104)をノックしてね!



かけもちOK!

一緒に楽しもう!

クラブ・サークル紹介

(2018年度実績)

クラブ ソフトボール部 / 細胞診研究会 / 和太鼓部 / VICON部 / 軟式野球部 / 手話部 / フットサル部 / 栄養サポート部 / 写真部 / 吹奏楽部 / 学生キッズ / 茶道部 / テニス部 / 剣道部 / 卓球部 / 男子バレーボール部 / 軽音楽部 / 学友会トレーナー部 / バドミントン部 / 男子ハンドボール部 / 女子ハンドボール部 / 園芸部 / よさこい部 / レクア.コム部 / 学友会サッカー部 / SpringBoard / ピアエデュケーション部 など

サークル 寺100サークル / メディカルサポート / CSP (Career Support Project) / 桃弓会 (弓道サークル) / タッチラグビーサークル / 救命救急サークルLIFE / ダンスサークルRIZE / おるんちよっ / FAUSTO (バスケットサークル) / Pacific (バスケットサークル) / Nexus (バスケットサークル) / 空飛ぶ車椅子サークル / 音楽サークル Music Studio / 模型サークル / カードゲーム同好会 / 新潟医療福祉大学アルビレックスプロジェクト / ソフトテニスサークル / アルティメットサークルScarlet / ざーびず ~20歳からの子宮頸がん予防~ など

卒業生
レポート

File No
01



長岡中央総合病院

言語聴覚士
若杉 美華さん

新潟県 新潟中央高校出身
言語聴覚学科
2014年3月卒業

患者さんに歩み寄る

私が勤務している急性期病院では、発音がうまくいかないお子さんをはじめ、話すことや理解するなど言葉の機能に障害がある方やコミュニケーション機能に障害がある方、飲み込むことに障害がある方など、幅広い年齢の多様な症状の方に対して評価・訓練を行っています。病気を発症されたばかりで現状を受け入れられない方も多いため、患者さんやご家族の気持ちをよく聴き、共感することを心がけています。

全く言葉が出てこなかった人が自分の名前を言えるようになった、口からご飯を食べられなかった人が食べられるようになった…など、日々の業務の中で感動する場面が多々あるのはこの仕事の魅力だと感じています。5年目になりましたが、まだまだ分からないことだらけです。深い知識を持った先輩方に教わりながら、患者さんと関わる中で今後も勉強していきたいと思っています。

▶ 本学を一言で表すとしたら？

「整った支援体制」 普段の勉強のこと、国家試験のこと、就職活動のことなど、何か困ったことがあればすぐに相談できる環境でした。学科の先生方だけでなく、学習支援センターや就職センターなどがあり、入学してから卒業・就職するまでのサポート体制が整っています。また、本学の同窓会では生涯教育を目標に掲げ、卒業生が現在どのようなことをしているのかを知る機会である「連携研修会」なども実施されています。在学中だけでなく、卒業後もさらに向上していける大学だと思います。



▶ 言語聴覚学科を目指す高校生や在学生へメッセージ

在学中は様々な分野の勉強があり、とても大変だと思います。しかし、その中でも友だちと遊ぶことやアルバイトをすることなど、今しかできないこともたくさんあります。私は大学時代に色々なアルバイトを経験したことで、勉強とアルバイトを両立するための時間の使い方を学んだり、年齢が違う人との接し方やマナーを学んだりする機会を得て、その経験が今の仕事にも活かしています。言語聴覚士は人と関わるのが好きな人、人の役に立ちたい人におすすめな職業です。

卒業生
レポート

File No
02



オールアラウンド・
スポーツクラブ

スポーツ指導者
五十田 陽子さん

新潟県 五泉高校出身
健康スポーツ学科
2017年3月卒業

多くの笑顔、
健康のために

私は現在、スポーツクラブで子どもたちや高齢者を対象に運動指導を行っています。この仕事のやりがいは、子どもたちの「できた!」の瞬間に携われること、そして高齢者の方々より生き生きとした姿を見られることです。子どもたちにとっては運動を始めるスタートラインであり、高齢者の方々にとってはこれからの人生をより健康で豊かにするための一歩であると思います。だからこそ、どの世代に対しても「運動って楽しい!」「体を動かすって気持ちいい!」と感じていただけるような運動指導を心がけています。

将来は、多世代が運動を通じて繋がり、みんなで笑顔になれるような場や地域をつくるのが目標です。その実現のために、それぞれの世代にあった運動指導を学んでいきたいです。

▶ 本学での学びは現在どのように生きていますか？

大学では、教員免許取得に向けて中学校で教育実習を行ったり、健康運動指導士の資格取得に向けて地域の高齢者へ運動指導を行ったりしました。また所属していた強化指定クラブのダンス部では、幼児や小学生を対象とするダンス指導の機会もいただき、様々な世代の人への指導を経験することができました。このように、新潟医療福祉大学で多くの実践的な学びを経験できたことが、人前で堂々と話せる自信に繋がり、また、それぞれの世代にあった運動指導をするための力になったと思います。



▶ スポーツ関連の職業を目指す 高校生や在学生へメッセージ

大学生活では多くの出会いや学びの場はもちろんのこと、誘惑も多いです(笑)。何事も受け身にならずに、自ら考え行動してほしいです。また将来の夢や目標が明確になっている人は、自分は今何をすべきか、どうしたらなりたい自分に近づけるか常に自分と向き合ってみてください。スポーツに関わらず、周りの人を笑顔に、そして自分自身も笑顔で幸せになれるような将来を目指して、有意義な4年間を過ごしてください!

女子バレーボール部

新潟医療福祉大学 初のVリーグ選手が2名誕生!

女子バレーボール部の白岩 蘭奈 選手(健康スポーツ学科4年)が「KUROBEアクアフェアリーズ」へ、唐川 愛璃 選手(同)が「JAぎふリオレーナ」への入団が決定しました! 白岩選手と唐川選手の入団により、本学初のVリーグ選手誕生となります。引き続き、白岩選手・唐川選手および本学女子バレーボール部へのご声援、よろしくお願いいたします。

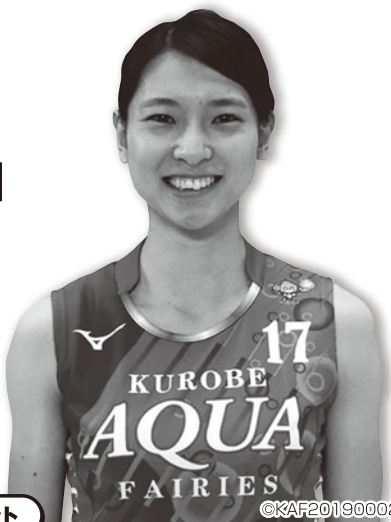
入団先

V1リーグ所属

**KUROBE
アクアフェアリーズ**

PROFILE

白岩 蘭奈 選手
生年月日: 1996年9月21日
身長: 169cm
出身地: 宮城県仙台市
出身高校: 利府高校



白岩選手のコメント

新たなステージでの挑戦となりますが、現状に満足せずさらにレベルアップを目指したいと思います。これまで応援してくださった方々に感謝し、皆さんの期待に応えることができるよう頑張ります。

入団先

V2リーグ所属

JAぎふリオレーナ

PROFILE

唐川 愛璃 選手
生年月日: 1997年3月29日
身長: 163cm
出身地: 福岡県朝倉市
出身高校: 博多女子高校



唐川選手のコメント

たくさんの方々の支援のおかげです。これからも感謝の気持ちを忘れず、カタチにして恩返しができるよう努力していきます。また、多くの人に感動や元気を与えられるような存在になれるよう邁進してまいります。

ダンス部

第6回新潟医療福祉大学ダンス部 公演が開催されました!



3月9日(土)に北区文化会館にて、本学ダンス部主催による第6回新潟医療福祉大学ダンス部公演「Leap-更なる躍進-」が開催されました。今回の公演では、数々のコンクール出品・受賞作品の再演や新作作品の披露のほかに、本学で開催しているダンス教室に通う子どもたちやダンス部の卒業生、国内外で活躍している西山 友貴さんなどをゲストに迎えての演目など、バラエティに富んだ見応えのあるプログラムで行われました。

当日は多くの方にお越しいただき、プログラム中に手拍子が起こるなど会場が一体となり大いに盛り上がる公演となりました。お越しいただいた皆様に心より感謝申し上げます。引き続き、ダンス部へのご声援、よろしくお願いいたします。

当日は多くの方にお越しいただき、プログラム中に手拍子が起こるなど会場が一体となり大いに盛り上がる公演となりました。お越しいただいた皆様に心より感謝申し上げます。引き続き、ダンス部へのご声援、よろしくお願いいたします。

大学スポーツ振興の推進事業(スポーツ庁委託事業)

小学生陸上教室 「冬の特別授業」を開催!



1月13日(日)・27日(日)に、大学スポーツ振興の推進事業(スポーツ庁委託事業)として小学生陸上教室「冬の特別授業」を開催しました。当日は特別コーチとしてインターハイ優勝や日本選手権3位という

実績を持つ、足立原 和宏 氏(新潟アルビレックスランニングクラブ ジュニア陸上スクールヘッドコーチ)をお招きし、本学陸上競技場屋内走路にて走る際の基本動作や長距離走の指導を中心に行っていただきました。

2日間合わせて約80名の教室生徒が集まり、コーチの話を熱心に聞き、教わった動作を身体で表現しようとする様子が非常に印象的でした。今後こうした活動を通して、大学を通じた地域のスポーツ振興を目指していきます。

大学スポーツ振興の推進事業とは

スポーツ庁が大学におけるスポーツ分野を戦略的かつ一体的に管理・統括する部局設置や人材配置によって大学のスポーツ活動を支援するものです。この事業の一環として、本学では陸上教室による地域貢献や人材育成を行い、大学スポーツの活性化や大学スポーツを通じた大学全体の振興を目指しています。

視機能科学科

前田 史篤 教授が「第30回日本神経眼科学会学術賞」を受賞しました!

視機能科学科の前田 史篤 教授が「第30回日本神経眼科学会学術賞」を受賞しました。前田先生は瞳孔（黒目）の動きを分析して、視機能を他覚的に評価する研究を進めています。本研究では後頭葉に障害がある同名半盲の症例に対して色刺激を用いた対光反射を記録し、赤い色刺激（長波長）を用いた場合、選択的に反応が悪くなることを発見しました。本研究の成果は、瞳孔の反応が中脳に投射される経路に加え、後頭葉を通る別の経路が存在し処理されていることを意味する重要な知見です。

前田先生はドイツTübingen大学への留学経験があり、帰国後も日・独共同研究を進めています。今後も視覚の科学的な研究に取り組んでいきます。



社会福祉学科

新潟水俣病関連情報発信事業 3大学合同フォーラムを開催!



1月13日(日)に新潟ときめいとにて、新潟医療福祉大学、新潟大学、新潟県立大学が取り組んでいる新潟水俣病関連事業「3大学合同フォーラム」が開催され、各大学の教職員および学生、水俣病関係者ほか一般市民を含めて約70名が参加しました。

当日は、各大学の学生らがこれまで水俣病から学んだ知識や想いを発表し、これまで以上に水俣病についての学びを深めることができました。

「SHAINプロジェクト」活動報告



文部科学省 平成29年度「私立大学研究ブランディング事業」選定 リハビリテーション科学とスポーツ科学の 融合による先端的研究拠点

—Sports&Health for All in Niigata—

**運動による認知機能向上効果には個人差があり、
運動機能が低い人ほど運動効果は大きい!!
研究論文が『PLOS ONE』に公開**



大学院博士課程2年生の山崎 雄大さんらの研究が、電子ジャーナル『PLOS ONE』に公開されました。この研究では、一過性の有酸素性運動による認知機能の改善効果が、被験者の元々の認知機能に依存しており、運動機能が低い被験者ほど、運動後に認知機能が改善されることを明らかにしました。

従来の研究は、運動が認知機能を改善させるかどうかに焦点を当てた研究が多く、運動効果の個人差について着目はされてきませんでした。本研究では、課題成績の低い被験者ほど運動による成績の改善が生じるという結果を得ることができ、どのような人が運動効果を得られやすいのかを追求していくための足掛かりになると思われます。

今後もこのような研究を推進し、健康増進法の開発・発展に向けた知見を発信していきます。

本学教員が健康・スポーツ県民講座「ランニング障害の原因とその予防」の講義・実技指導を行いました。



1月27日(日)に、新潟県健康づくり・スポーツ医科学センターにて、県民講座「ランニング障害の原因とその予防」の講義と実技指導を行いました。

この講座では、ジョギング・ランニング人口が増加する一方で、膝関節や足などの下肢の障害が多発していることに着目し、前編で健康スポーツ学科 大森豪 教授が、スポーツ医学の視点から障害の原因と予防法について講義を行いました。また後編では、理学療法学科の伊藤 涉 助教が走り方に必要な姿勢づくりやトレーニングについて、本学陸上競技部に所属し全国大学駅伝にも出場している小林 史弥さんをモデルとして実技指導を行いました。参加者の皆さんは、こうした実技指導から、障害の起こりにくい走り方をより明確にイメージできたようでした。

今後もこのような活動を通して、スポーツ傷害予防などへの実践活動を推進していきます。

SHAINプロジェクトとは……文部科学省 平成29年度 私立大学研究ブランディング事業の選定プロジェクトの通称。リハビリテーション科学とスポーツ科学の融合により「Sports & Health for All in Niigata (SHAIN)」=地域住民からアスリートまですべての人が安全にスポーツする楽しみ、幸せな生涯を過ごす新潟県の創出を目指します。

高校生の皆さんへ

オープンキャンパス ★は日帰りバスツアー運行予定

4月13日(土)	8月3日(土)*	10月 6日(日)	2020年
6月16日(日)*	8月4日(日)*	11月10日(日)	3月20日(金・祝)*
7月14日(日)*	9月1日(日)*	12月 7日(土)	3月21日(土)*

大学説明や入試説明をはじめ、職業や学びを体験できる学科別プログラムや入試対策講座など、皆さんの「知りたい」にすべてにお応えします。



主なプログラム

- 大学説明会 ●学科別説明会 ●入試説明会 ●全13学科による体験プログラム
- 各種入試対策講座 ●専門スタッフによる個別相談コーナー ●学生寮見学ツアー
- 教員・在学生による個別相談コーナー ●施設見学ツアー ●模擬講義 など

日帰りバスツアー 参加無料 保護者同伴OK 要予約

3・6・7・8・9月のオープンキャンパスでは、新潟県内や県外各地から無料の日帰りバスツアーを運行します!

新潟県(上越・柏崎・長岡) 宮城県 秋田県 山形県 福島県

栃木県 茨城県 群馬県 埼玉県 東京都 富山県 石川県

長野県 の各都市より運行!

※開催日ごとに発着地が異なります。詳細は本学HPでご確認ください。

大学イベント案内

桃迎会 (新入生歓迎会) 4月13日(土)※
※オープンキャンパスと同日開催

在学生による新入生歓迎会です。特設会場で行われる部活動発表やクラブ・サークルパフォーマンスを観覧できます。ぜひ参加して在学生と交流を深めてください!



伍桃祭 (大学祭) 1日目/10月13日(日)
2日目/10月14日(月・祝)

模擬店やクラブサークルによるパフォーマンス、ゲストを招いてのライブなど様々なイベントを開催します!ぜひキャンパスライフの楽しさを体感してください。



SNS公式アカウントのご紹介

本学では、Facebook、Twitter、LINE、InstagramなどのSNSで様々な情報を発信しています。



大学院 [医療福祉学研究科]

次代の保健・医療・福祉・スポーツ分野を支える指導者・教育者・研究者を養成します。

少子高齢化、生活環境の著しい変化、医療技術の高度化により、保健・医療・福祉・スポーツ分野のニーズは多様化かつ高度化しています。本学大学院は、アジアNo.1となるべく教育・研究体制の整備を進め、この分野の教育・研究を推進し、その成果を社会に還元していきます。

社会人が学びやすい制度

長期履修生制度

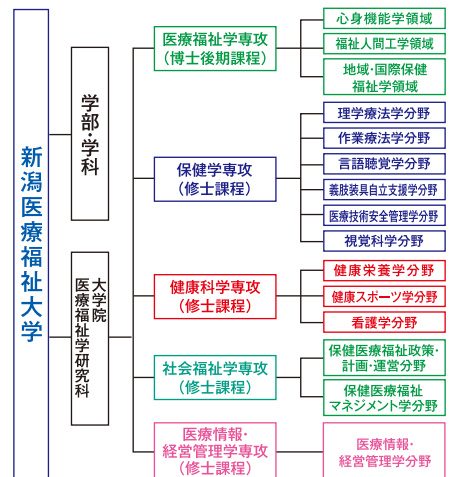
本学大学院では、個々の学生の生活条件・勤務環境などを考慮し、標準修業年限を超えて長期にわたって履修できる制度を設けており、社会人になっても安心して働きながら学べるシステムとなっています。また、長期履修の場合、授業料の納付に関する特例も設けています。

昼夜開講制

本学大学院の時間割においては、働きながら学びたいという方の希望に応えるため、昼夜開講制とし、平日は昼間と夜間に開講(夜間の授業の開始は18:10~)しています。また、土曜日(昼間)授業または集中授業なども行う工夫をしています。

入学金減免制度・奨学金

本学卒業生が卒業後継続して入学する場合は、入学金の全額を、本学既卒者の場合には半額を減免します。また、特待生制度や本学独自の奨学金制度(給付型・貸与型)、日本学生支援機構奨学金など、経済面のサポートも充実しています。



新潟医療福祉大学

〒950-3198 新潟市北区島見町1398番地
TEL 025-257-4455(代)
FAX 025-257-4456
URL <http://www.nuhw.ac.jp/>
【入試事務局】TEL 025-257-4459
E-mail nyuusi@nuhw.ac.jp

誌名「QOLサポーター新潟」の由来

世界一の長寿国となった我が国では、「いのちの長さ」を伸ばすことと同様に、「生活の質、Quality of Life, QOL」を豊かにすることが、益々必要になっています。新潟医療福祉大学では障害者、高齢者などのQOLを高くすることを支援する(サポート)人材を育成します。このような人材を「QOLサポーター」と名づけました。そして皆様にも本学内容、活動をお知らせする広報誌を「QOLサポーター新潟」としました。

